

全国は“持ち直し”で足踏み状態、 いわきは“回復基調”に

“経済・景気四方山話”：

混合する公・民セクターの動向

大川 信行

東日本国際大学 経済情報学部 教授

■ 国の経済・景気

全国の経済・景気は、8月以降、“厳しい状態”ながらも“持ち直し”をしてきており、2月も同じ状態にある。分野別には、生産は“緩やかに持ち直し”、個人消費も前月の“おおむね横ばい”から“底堅い動き”とやや上向いている。輸出は景気減速の欧州やアジア向けの輸出の減少から“横ばい”から“弱含み”と3カ月ぶりに下降し、輸入も“緩やかな増加”から“増勢が鈍化”した（「経済月例報告」内閣府）。

また、「第3四半期GDP速報値」（内閣府）は、円高や世界景気の減速、タイの洪水による輸出低迷で、実質値で前期比0.6%（年率2.3%）と2四半期ぶりにマイナス成長となった。しかしながら復興需要の本格化をにらんだ設備投資が上向いており、「景気動向調査（内閣府）」では景気一致指数が10指標のうち9指標が改善しており、第4四半期に緩やかな回復基調に戻るとする見方がある。

一方で、欧州経済の悪化が米国経済、中国経済等へ波及することによる更なる輸出低迷、原子力発電所事故による原油、LNGの輸入増加やイラン問題の深刻化、電気料金値上げによるエネルギーコストの高騰、消費増税を含む社会保障と税との一体化改革、国債の更なる格下げ等の政治的な混乱等のリスクが横たわっており、足踏み状態が続くとみる向きも少なくない。

■ いわきの経済・景気

“3.11”以降、前期（7-9月）に“回復への動き”をみせていたが、今期（10-12月）は“回復基調”が一層強まってきている。部門別に需要動向は、震災による大幅な落ち込みから急反発し、自動車、住宅着工が回復するなど消費マインドが本格的に回復しつつある。企業動向も大口電力使用量が大幅に増加しており、海上貨物や高速道路出入交通量、手形交換高なども増加し、人・もの・金が活発に動いている。

さらに新規求人倍率及び有効求人倍率が上昇傾向にあり雇用情勢も改善している。ただ一方で、雇用保険受給者数が高止まっており、入湯税の低迷に見られる観光客の戻りが鈍いといった不安材料もある。先行きは楽観こそ許されないものの、景気回復へ道を着実に進むとみられる。

■ 経済・景気四方山話：

混合する公・民セクターの動向

経済の対象である財・サービスは、行政、民間企業、NPO、市民、諸団体等によって提供される。今、各セクターの役割分担が変化し、地域振興の潮流を変えようとしている。本稿ではその流れを整理し、今後を展望する。

一般に財・サービスは、排除性*1が無いものを公共財（公共施設等）、有るものを民間財（民間施設等）、その中間の準公共財*2に区分さ

目次

【巻頭言】

全国は“持ち直し”で足踏み状態、いわきは“回復基調”に
“経済・景気四方山話”：混合する公・民セクターの動向……………1

I いわき市の経済の動き

1 概況（平成23年第4四半期（10～12月）の状況）……………3

2 主要経済データ……………5

II いわき市の景気の動き

（平成23年度第4四半期（10～12月）の状況）

1 CI（コンポジット・インデックス）……………9

2 DI（ディフュージョン・インデックス）……………12

【参考】景気動向指数（DI）利用の手引き……………13

国・県の動き……………15

れる。これらをセクター別(セクターには領域と主体の二つの意味がある)に整理すると、公共財の領域でこの公共財を整備する主体を第一セクター(一セク。以下同様)、以下同様に二セク及び三セクという。今、これらのセクターを巡り色々な変化・混合が起きている。

*1 排除性とは、財・サービスの提供を特定の人に出来ないか、できるか、で前者を排除性がある、後者を排除性がないという。

*2 かって公と私(民間財と同義)のほかに両方に跨る共という領域があった。公共と私共ともいべき領域であるが、その後、公共が公共事業のように使われるようになって意味が変わり、私共も使われなくなった。この領域が準公共財、三セクの領域であるこの分野にはまちづくり、福祉、教育等がある。

I. セクター間の機能補完

1. 三セク

三セク*3は、一セク(事業主体)と二セク(事業主体)との共同出資・出捐で設立する事業主体である。一セクがインセンティブ(優遇措置、規制緩和等)を用意する一方で、二セクの資金力、経営能力を活用し、二セク(領域)の事業を活性化させる。以上により採算性が上がるため、三セク領域の準公共財の事業化が可能となる。三セクは、今では業績不振に陥っているものが少なくないが、新たな制度設計による新・三セクが導入されてもよい。今次の震災復興時、ポテンシャル(潜在発展力)が低い地域において有効である。

*3 米国ではNPO、市民団体等の非営利組織をThe Third Sector(米国型三セク)と呼び後述の新しい公共や第四セクターと同じ意味で使っている。

2. 新自治体経営

新自治体経営(NPM)は、一セクの領域に二セクの経営手法等を導入し、一セクの効率化・活性化を図る行政運営理論である。財政制約が強まるなかで公共サービスを確保するため、①計画・実行・評価・改善(PDCA)サイクルによる統制、②民間委託、エイジェンシー化、PFI*4、市場化テスト等市場原理の導入、③公共サービスの住民中心への転換、などが行われる。今次震災復興を契機にして新自治体経営を導入すべきである。

*4 民間資金の活用で公共施設整備を行うもの。VFM(行政が実施した場合とPFIによる場合を比較する方法)次第でPFIが導入される。

3. ソーシャルビジネスとプラボノ

ソーシャルビジネス(SB)というのは、非営利分野の広がりや企業の社会的責任(CSR)の高まりを

背景に、準公共財を扱う三セク分野における社会的課題を二セクの民間活力で解決する企業システムをいう。その意味では三セクの企業版である。主体別に収益事業形態の会社型、社会貢献や慈善形態のNPO型がある。

以上が企業による社会貢献であるのに対して個人によるのがプロボノである。プロボノ(Pro Bono Publico)とは“公共善のために”を意味し、社会人が仕事を通じて培った知識やスキルを、会社に所属しながら自分の時間の一部を活用して社会貢献するものである。今次復興に際して両者が活用される例が増加している。

II. 新たなセクターの登場

1. 新しい公共

従来、一セクが提供してきた財・サービスを二セクや三セクが担うものである。一セクによるインセンティブと二セクの活力を活用することで、二セク(領域)の事業活性化と三セク領域の準公共財の事業化を行うスキームである。ただ三セクと違い、NPO等非営利組織の事業主体が中心となる(低採算性ものほど次節の“2.四セク”の領域に近づく)。

震災復興時に有効な手法のひとつである。英サッチャー政権の政策が源流であるが、日本では民主党政権が内閣に特命大臣を充てているなど積極的に取り込んでおり、その成果が期待される。

2. 四セク・ボランタリー経済

二セクの社会的責任(CSR)や市民の社会貢献等使命感の高まりや一セクでは不十分な分野の補完等を目的として、ボランティア、NPO、インターネットメディアリイ等のセクターが増加しており、とくに今次震災時での活躍ぶりには目覚ましい。三セク領域のうち非営利に近い、ないしは非営利領域にある分野(事業主体維持を目的とする営利は許される)で、このような領域を四セクないしは米国型三セク*3と呼ぶ。なお、以上のような非貨幣による財・サービスをボランティア経済とした研究が進んでいる。

今後、以上のようなセクターを巡る動向を地域にうまく取り込むことが肝要である。それには各セクターの連携(PPP)や社会関係資本*5といった行政、企業、社会企業家、NPO、市民、諸団体等間の社会的ネットワークで結ぶ社会関係資本(SRC)の醸成が重要であると言える。

*5 社会基盤を社会資本(SC)本というが、社会関係資本の“関係”を省略した言い方がされることがあるので注意を要する。

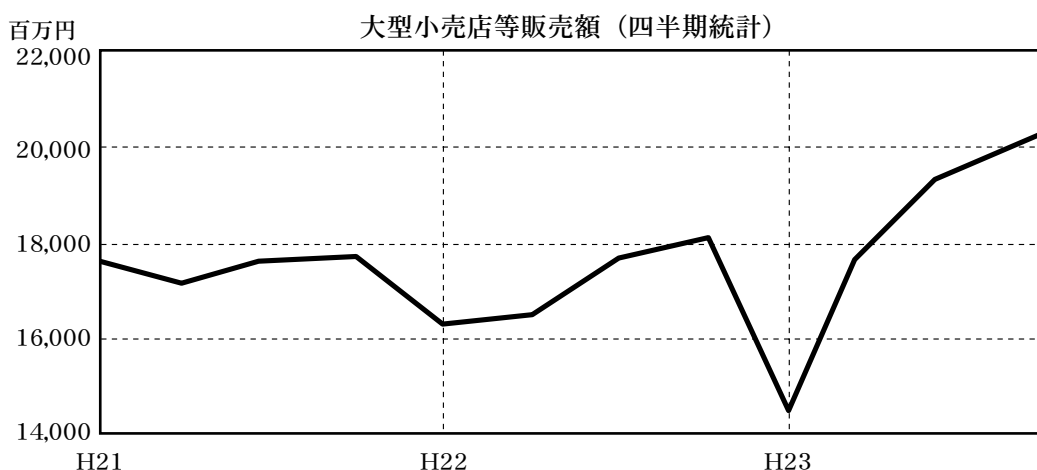
(以上)

I いわき市の経済の動き

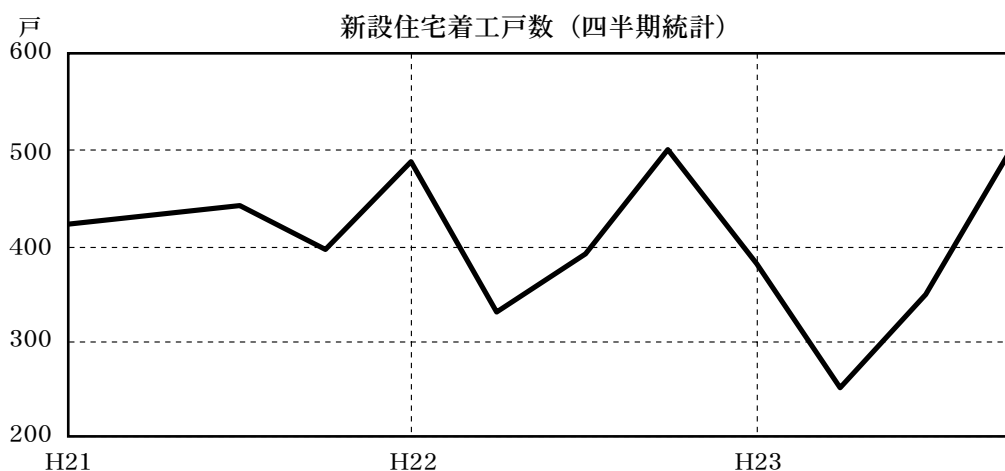
1 概況（平成23年第Ⅳ四半期（10～12月）の状況）

(1)需要動向

- 【個人消費】 ○ 第Ⅳ四半期（10～12月）の大型小売店等販売額は約202億円（前年同期比12.1%の増加）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。
- 自動車新規登録台数は4,918台（前年同期比35.6%の増加）となり、5四半期ぶりに前年の水準を上回った。

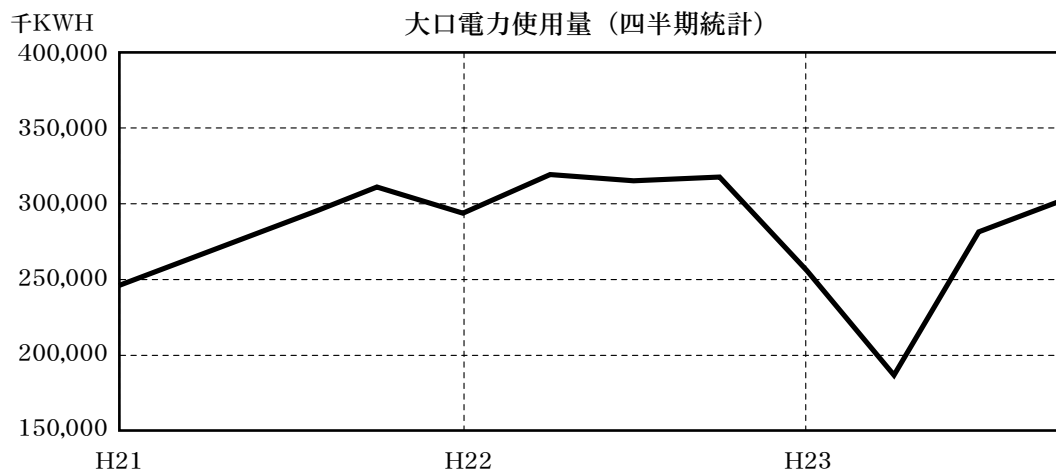


- 【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は504戸（前年同期比0.8%の増加）となり、4四半期ぶりに前年の水準を上回った。
- 12月の中小企業DI調査の建設業DIは54.5となり、前回（9月 42.8）より11.7ポイント改善した（0が横ばいの水準）。



(2)企業動向

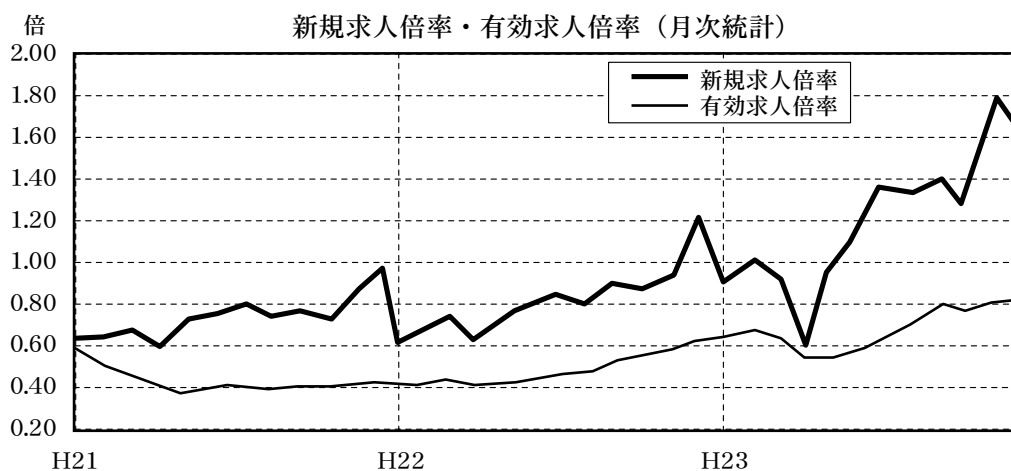
- 【生産活動】
- 第Ⅳ四半期（10～12月）の大口電力使用量は、前年同期比5.4%の減少となり、4四半期連続で前年の水準を下回った。
 - 12月の中小企業DI調査の製造業DIは-16.1となり、前回（9月 -16.1）と同水準となった。



- 【企業活動】
- 負債1千万円以上の企業倒産件数は4件となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。
 - 手形交換高は約371億円（前年同期比11.8%の増加）となり、平成20年第Ⅰ四半期以来、15四半期ぶりに前年の水準を上回った。
 - 12月の中小企業DI調査の総合DIは-5.4となり、前回（9月 -16.4）より11.0ポイント改善した。

(3)雇用情勢

- 【雇 用】
- 第Ⅳ四半期（10～12月）の雇用保険受給者実人員は16,575人（前年同期比180.2%の増加(=悪化)）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った（悪化した）。
 - 12月の新規求人倍率は1.63倍（前年同月より0.41ポイントの上昇）となり、8ヵ月連続で前年の水準を上回った。
 - 12月の有効求人倍率は0.82倍（前年同月より0.20ポイントの上昇）となり、20ヵ月連続で前年の水準を上回った。



2 主要経済データ

| 区分 | 需要動向 | | | | | | | | | | 企業動向 | | | |
|----------------|--------------|----------|--------------------------------|----------|----------|----------|------------|----------|-----------------------------------------------------------|----------|------------|----------|---------------|----------|
| | 個人消費 | | | | 建設需要 | | | | | | 生産活動 | | | |
| | 大型小売店等販売額 | | 自動車新規登録台数 | | 新設住宅着工戸数 | | 建築確認申請受付件数 | | 公共工事等受注額 | | 大口電力使用量 | | 小名浜港海上出入貨物 | |
| 年月 | (百万円) | 前年同期比(%) | (台) | 前年同期比(%) | (戸) | 前年同期比(%) | (件) | 前年同期比(%) | (百万円) | 前年同期比(%) | (千KWH) | 前年同期比(%) | (千t) | 前年同期比(%) |
| 【年次統計】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成19年 | 75,706 | -0.2 | 20,970 | -10.1 | 1,939 | -12.9 | 1,476 | -16.8 | 19,564 | -15.5 | 1,417,421 | 3.5 | 15,955 | 7.9 |
| 20年 | 75,754 | 0.1 | 20,645 | -1.5 | 1,838 | -5.2 | 1,416 | -4.1 | 18,005 | -8.0 | 1,472,811 | 3.9 | 18,347 | 15.0 |
| 21年 | 69,504 | -8.3 | 19,189 | -7.1 | 1,694 | -7.8 | 1,218 | -14.0 | 17,959 | -0.3 | 1,120,337 | -23.9 | 14,745 | -19.6 |
| 22年 | 68,605 | -1.3 | 20,609 | 7.4 | 1,712 | 1.1 | 1,211 | -0.6 | 12,637 | -29.6 | 1,245,243 | 11.1 | 14,853 | 0.7 |
| 23年 | 71,678 | 4.5 | 16,906 | -18.0 | 1,489 | -13.0 | 1,033 | -14.7 | 8,826 | -30.2 | 1,025,336 | -17.7 | 11,921 | -19.7 |
| 【四半期統計】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年 I | 16,295 | -6.6 | 6,455 | 22.2 | 488 | 15.1 | 280 | 1.8 | 3,729 | 18.4 | 293,784 | 18.2 | 3,361 | -15.4 |
| II | 16,592 | -2.3 | 4,815 | 23.4 | 332 | -23.1 | 273 | -9.9 | 1,656 | -21.4 | 318,713 | 17.7 | 3,194 | -0.9 |
| III | 17,658 | 0.9 | 5,712 | 17.4 | 392 | -11.5 | 325 | 2.8 | 4,908 | -53.6 | 315,281 | 8.7 | 4,380 | 15.1 |
| IV | 18,060 | 2.7 | 3,627 | -29.4 | 500 | 26.6 | 333 | 2.8 | 2,344 | 9.9 | 317,465 | 2.0 | 3,918 | 4.7 |
| 平成23年 I | 14,505 | -11.0 | 3,991 | -38.2 | 384 | -21.3 | 215 | -23.2 | 1,636 | -56.1 | 257,782 | -12.3 | 3,119 | -7.2 |
| II | 17,632 | 6.3 | 3,347 | -30.5 | 253 | -23.8 | 140 | -48.7 | 726 | -56.2 | 187,243 | -41.3 | 981 | -69.3 |
| III | 19,294 | 9.3 | 4,650 | -18.6 | 348 | -11.2 | 314 | -3.4 | 2,747 | -44.0 | 279,842 | -11.2 | 3,349 | -23.5 |
| IV | 20,246 | 12.1 | 4,918 | 35.6 | 504 | 0.8 | 364 | 9.3 | 3,718 | 58.6 | 300,469 | -5.4 | 4,472 | 14.1 |
| 【月次統計】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年 1月 | 5,595 | -7.2 | 1,746 | 19.2 | 157 | 11.3 | 95 | 1.1 | 1,039 | 68.6 | 101,735 | 7.7 | 1,102 | -16.0 |
| 2月 | 4,951 | -5.6 | 2,026 | 18.8 | 167 | -0.6 | 92 | 10.8 | 360 | -21.7 | 92,502 | 16.9 | 1,248 | -6.8 |
| 3月 | 5,748 | -6.9 | 2,683 | 27.0 | 164 | 42.6 | 93 | -5.1 | 2,329 | 12.4 | 99,547 | 33.0 | 1,011 | -23.4 |
| 4月 | 5,385 | -1.9 | 1,514 | 27.5 | 65 | -59.1 | 90 | -12.6 | 271 | -26.6 | 109,845 | 23.9 | 944 | 6.3 |
| 5月 | 5,663 | -4.8 | 1,483 | 23.8 | 134 | -8.2 | 84 | -7.7 | 333 | 55.7 | 105,437 | 18.0 | 979 | -14.1 |
| 6月 | 5,543 | 0.0 | 1,818 | 19.8 | 133 | 4.7 | 99 | -9.2 | 1,052 | -31.0 | 103,431 | 11.6 | 1,271 | 6.2 |
| 7月 | 5,895 | 1.4 | 1,924 | 15.2 | 147 | 22.5 | 112 | -6.7 | 1,230 | -54.8 | 109,247 | 8.9 | 1,533 | 6.5 |
| 8月 | 6,281 | -0.1 | 1,854 | 44.2 | 130 | -23.5 | 107 | 4.9 | 1,854 | 97.2 | 99,708 | 9.1 | 1,625 | 37.5 |
| 9月 | 5,482 | 1.6 | 1,934 | 1.3 | 115 | -24.8 | 106 | 12.8 | 1,824 | -73.6 | 106,326 | 8.2 | 1,223 | 3.1 |
| 10月 | 5,776 | 4.5 | 1,329 | -24.3 | 197 | 60.2 | 95 | -8.7 | 912 | 26.7 | 105,257 | 1.8 | 1,267 | 11.1 |
| 11月 | 5,285 | 0.5 | 1,231 | -36.6 | 149 | 43.3 | 116 | 6.4 | 653 | -3.4 | 105,879 | 1.1 | 1,309 | 11.4 |
| 12月 | 6,999 | 3.0 | 1,067 | -25.9 | 154 | -8.3 | 122 | 9.9 | 779 | 5.7 | 106,329 | 3.2 | 1,343 | -6.0 |
| 平成23年 1月 | 5,695 | 1.8 | 1,369 | -21.6 | 117 | -25.5 | 78 | -17.9 | 517 | -50.3 | 107,349 | 5.5 | 1,448 | 31.4 |
| 2月 | 5,075 | 2.5 | 1,601 | -21.0 | 134 | -19.8 | 92 | 0.0 | 356 | -1.1 | 101,098 | 9.3 | 1,295 | 3.8 |
| 3月 | 3,735 | -35.0 | 1,021 | -61.9 | 133 | -18.9 | 45 | -51.6 | 763 | -67.2 | 49,335 | -50.4 | 376 | -62.8 |
| 4月 | 5,320 | -1.2 | 1,028 | -32.1 | 27 | -58.5 | 27 | -70.0 | 206 | -24.1 | 41,171 | -62.5 | 111 | -88.2 |
| 5月 | 6,136 | 8.4 | 944 | -36.3 | 171 | 27.6 | 39 | -53.6 | 432 | 29.7 | 63,405 | -39.9 | 138 | -85.9 |
| 6月 | 6,175 | 11.4 | 1,375 | -24.4 | 55 | -58.6 | 74 | -25.3 | 88 | -91.6 | 82,667 | -20.1 | 732 | -42.4 |
| 7月 | 6,485 | 10.0 | 1,517 | -21.2 | 86 | -41.5 | 101 | -9.8 | 726 | -41.0 | 96,005 | -12.1 | 964 | -37.1 |
| 8月 | 6,828 | 8.7 | 1,295 | -30.2 | 199 | 53.1 | 105 | -1.9 | 896 | -51.7 | 89,264 | -10.5 | 1,000 | -38.4 |
| 9月 | 5,981 | 9.1 | 1,838 | -5.0 | 63 | -45.2 | 108 | 1.9 | 1,125 | -38.3 | 94,573 | -11.1 | 1,385 | 13.3 |
| 10月 | 6,496 | 12.5 | 1,709 | 28.6 | 172 | -12.7 | 121 | 27.4 | 1,071 | 17.4 | 99,004 | -5.9 | 1,321 | 4.3 |
| 11月 | 5,885 | 11.3 | 1,742 | 41.5 | 187 | 25.5 | 123 | 6.0 | 1,336 | 104.6 | 101,274 | -4.3 | 1,396 | 6.7 |
| 12月 | 7,865 | 12.4 | 1,467 | 37.5 | 145 | -5.8 | 120 | -1.6 | 1,311 | 68.3 | 100,191 | -5.8 | 1,755 | 30.7 |
| 出典 | いわき未来づくりセンター | | いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所 | | 県土木部 | | 市建築指導課 | | 国土交通省東北地方整備局、福島県いわき農林事務所・いわき建設事務所・小名浜港湾事務所、いわき市の各公共工事入札結果 | | 東北電力いわき営業所 | | 福島県小名浜港湾建設事務所 | |

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む
 四半期統計において、Iは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す。

| 区分 | 企 業 動 向 | | | | | | | | | | | |
|----------|----------------|-------------------|-----------------|-------------------|-------------|-------------------|----------------|-------------------|----------|-------------------|--------|-------------------|
| | 生産活動 | | 企 業 活 動 | | | | | | | | | |
| | 小名浜港輸入 通関実績 | | 法人市民税 調定額 | | 信用保証 承諾額 | | 信用保証協会 代位弁済 | | 手形交換高 | | 不渡手形金額 | |
| 年 月 | (百万円) | 前 年 同期比 (%) | (百万円) | 前 年 同期比 (%) | (百万円) | 前 年 同期比 (%) | (百万円) | 前 年 同期比 (%) | (百万円) | 前 年 同期比 (%) | (百万円) | 前 年 同期比 (%) |
| 【年次統計】 | | | | | | | | | | | | |
| 平成19年 | 341,360 | 32.9 | 3,858 | 4.8 | 21,590 | -12.2 | 1,107 | 5.6 | 215,287 | -4.8 | 84.0 | -46.9 |
| 20年 | 447,728 | 31.2 | 3,353 | -13.1 | 26,270 | 21.7 | 1,089 | -1.6 | 200,593 | -6.8 | 32.0 | -62.0 |
| 21年 | 227,031 | -49.3 | 1,969 | -41.3 | 34,021 | 29.5 | 1,310 | 20.2 | 172,567 | -14.0 | 866.4 | 2,610.1 |
| 22年 | 317,415 | 39.8 | 2,999 | 52.3 | 22,709 | -33.2 | 734 | -43.9 | 150,870 | -12.6 | 91.8 | -89.4 |
| 23年 | 200,303 | -36.9 | 2,912 | -2.9 | 39,757 | 75.1 | 811 | 10.4 | 138,291 | -8.3 | 137.2 | 49.5 |
| 【四半期統計】 | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年 I | 70,707 | 5.7 | 159 | -36.8 | 6,894 | -45.0 | 185 | -34.7 | 38,670 | -22.1 | 2.5 | -45.9 |
| II | 79,676 | 117.5 | 1,401 | 70.8 | 5,650 | -25.2 | 281 | -44.2 | 41,416 | -10.5 | 0.0 | -100.0 |
| III | 75,341 | 8.9 | 449 | 78.3 | 4,905 | -24.9 | 60 | -65.0 | 37,600 | -8.2 | 85.9 | - |
| IV | 91,691 | 68.7 | 990 | 53.6 | 5,261 | -28.9 | 209 | -40.7 | 33,184 | -7.0 | 3.4 | -99.6 |
| 平成23年 I | 72,983 | 3.2 | 294 | 84.4 | 4,275 | -38.0 | 348 | 88.3 | 35,320 | -8.7 | 85.4 | 3,314.4 |
| II | 2,131 | -97.3 | 868 | -38.1 | 16,699 | 195.6 | 151 | -46.2 | 28,498 | -31.2 | 40.2 | - |
| III | 64,440 | -14.5 | 788 | 75.6 | 11,942 | 143.5 | 148 | 146.0 | 37,370 | -0.6 | 11.7 | -86.4 |
| IV | 60,749 | -33.7 | 962 | -2.8 | 6,840 | 30.0 | 164 | -21.5 | 37,103 | 11.8 | 0.0 | -100.0 |
| 【月次統計】 | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年 1月 | 18,306 | -32.3 | 40 | -67.6 | 1,348 | -61.4 | 17 | - | 11,725 | -22.1 | 2.5 | - |
| 2月 | 25,622 | -3.6 | 53 | -21.9 | 1,869 | -51.3 | 35 | -79.7 | 11,368 | -21.2 | 0.0 | -100.0 |
| 3月 | 26,779 | 101.8 | 67 | 7.0 | 3,677 | -29.4 | 133 | 19.7 | 15,577 | -22.8 | 0.0 | - |
| 4月 | 22,227 | 118.2 | 82 | 54.4 | 1,745 | -23.5 | 127 | 68.2 | 14,378 | -9.4 | 0.0 | 0.0 |
| 5月 | 29,096 | 236.9 | 358 | 69.6 | 1,606 | -30.3 | 141 | -37.5 | 13,603 | 11.1 | 0.0 | 0.0 |
| 6月 | 28,353 | 59.2 | 962 | 72.7 | 2,298 | -22.6 | 12 | -93.9 | 13,434 | -26.0 | 0.0 | 0.0 |
| 7月 | 24,558 | 16.9 | 194 | 117.2 | 1,395 | -44.2 | 49 | 567.1 | 10,817 | -24.8 | 76.2 | - |
| 8月 | 25,386 | 31.9 | 174 | 34.2 | 1,653 | -21.6 | 4 | -89.9 | 15,601 | 13.5 | 9.7 | - |
| 9月 | 25,397 | -12.2 | 81 | 144.9 | 1,856 | -3.2 | 7 | -94.4 | 11,182 | -13.0 | 0.0 | - |
| 10月 | 21,521 | 35.3 | 161 | 118.2 | 1,300 | -29.3 | 1 | -99.5 | 8,878 | -10.8 | 3.3 | - |
| 11月 | 34,811 | 116.4 | 750 | 42.8 | 1,985 | -18.8 | 194 | 130.5 | 12,744 | -7.3 | 0.0 | -100.0 |
| 12月 | 35,359 | 58.2 | 78 | 72.6 | 1,976 | -36.6 | 14 | -71.7 | 11,562 | -3.6 | 0.2 | - |
| 平成23年 1月 | 43,846 | 139.5 | 54 | 36.8 | 1,172 | -13.1 | 7 | -60.1 | 12,835 | 9.5 | 68.7 | 2,646.4 |
| 2月 | 22,352 | -12.8 | 99 | 87.1 | 1,535 | -17.8 | 34 | -2.9 | 11,869 | 4.4 | 10.0 | - |
| 3月 | 6,785 | -74.7 | 140 | 110.2 | 1,567 | -57.4 | 307 | 131.5 | 10,616 | -31.8 | 6.7 | - |
| 4月 | 233 | -99.0 | 37 | -54.7 | 3,121 | 78.8 | 47 | -63.3 | 7,298 | -49.2 | 0.0 | - |
| 5月 | 210 | -99.3 | 173 | -51.6 | 3,029 | 88.6 | 78 | -44.4 | 11,434 | -16.0 | 3.8 | - |
| 6月 | 1,688 | -94.0 | 658 | -31.6 | 10,549 | 359.0 | 26 | 109.9 | 9,767 | -27.3 | 36.4 | - |
| 7月 | 18,753 | -23.6 | 328 | 68.8 | 5,432 | 289.4 | 28 | -42.7 | 10,146 | -6.2 | 0.0 | -100.0 |
| 8月 | 14,615 | -42.4 | 186 | 7.0 | 3,728 | 125.5 | 57 | 1,321.5 | 15,533 | -0.4 | 2.2 | -77.3 |
| 9月 | 31,072 | 22.3 | 275 | 238.2 | 2,782 | 49.9 | 64 | 806.6 | 11,691 | 4.6 | 9.5 | - |
| 10月 | 23,236 | 8.0 | 113 | -29.7 | 2,128 | 63.7 | 68 | 5,960.1 | 13,097 | 47.5 | 0.0 | -100.0 |
| 11月 | 17,216 | -50.5 | 775 | 3.4 | 2,376 | 19.7 | 60 | -68.9 | 12,226 | -4.1 | 0.0 | - |
| 12月 | 20,297 | -42.6 | 73 | -6.6 | 2,337 | 18.3 | 35 | 156.0 | 11,780 | 1.9 | 0.0 | -100.0 |
| 出 典 | 横浜税関 | | 市市民税課 (法人税割) | | 福島県信用保証協会 | | | | いわき手形交換所 | | | |

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む
四半期統計において、Iは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す

| 区 分 | 企 業 動 向 | | | | 雇 用 | | | | | | そ の 他 | | | |
|----------------|-----------------------------|--------|--------------|---------|---------------------------|-----------|-----------|-----------|--------------------|-----------|-------------|-----------|----------------------------------|-----------|
| | 企 業 活 動 | | | | 新規求人倍率 | | 有効求人倍率 | | 雇用保険 受給者 実人員 | | 入湯税 調定人員 | | 高速道路 出入口交通量 | |
| | 企業倒産件数 | | 企業倒産 負債総額 | | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 | 前年 同期比 |
| 年 月 | (件) | (%) | (百万円) | (%) | (倍) | (%) | (倍) | (%) | (人) | (%) | (人) | (%) | (千台) | (%) |
| 【年次統計】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成19年 | 21 | 5.0 | 10,441 | 80.1 | 1.24 | 0.00 | 0.89 | 0.00 | 20,914 | -4.6 | 866,277 | 5.7 | 7,775 | 1.5 |
| 20年 | 31 | 47.6 | 16,592 | 58.9 | 0.94 | -0.30 | 0.69 | -0.20 | 20,887 | -0.1 | 789,850 | -8.8 | 7,608 | -2.2 |
| 21年 | 11 | -64.5 | 4,958 | -70.1 | 0.73 | -0.21 | 0.40 | -0.29 | 38,365 | 83.7 | 757,737 | -4.1 | 8,026 | 5.5 |
| 22年 | 14 | 27.3 | 7,398 | 49.2 | 0.87 | 0.14 | 0.53 | 0.13 | 27,312 | -28.8 | 745,323 | -1.6 | 8,343 | 4.0 |
| 23年 | 23 | 64.3 | 7,472 | 1.0 | - | - | - | - | 55,181 | 102.0 | 277,982 | -62.7 | 11,837 | 41.9 |
| 【四半期統計】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年 I | 3 | -25.0 | 2,704 | -19.5 | - | - | - | - | 7,983 | 12.8 | 232,818 | 5.3 | 1,897 | 8.1 |
| II | 1 | -75.0 | 72 | -94.1 | - | - | - | - | 6,870 | -32.5 | 134,242 | -8.8 | 1,999 | 0.1 |
| III | 4 | 300.0 | 3,564 | 1,880.0 | - | - | - | - | 6,544 | -42.7 | 188,587 | 2.3 | 2,328 | 2.4 |
| IV | 6 | 200.0 | 1,058 | 426.4 | - | - | - | - | 5,915 | -39.0 | 189,676 | -7.6 | 2,120 | 6.0 |
| 平成23年 I | 11 | 266.7 | 3,715 | 37.4 | - | - | - | - | 5,376 | -32.7 | 177,270 | -23.9 | 1,612 | -15.0 |
| II | 7 | 600.0 | 807 | 1,020.8 | - | - | - | - | 15,215 | 121.5 | 26,231 | -80.5 | 2,322 | 16.2 |
| III | 1 | -75.0 | 70 | -98.0 | - | - | - | - | 18,015 | 175.3 | 23,392 | -87.6 | 3,847 | 65.3 |
| IV | 4 | -33.3 | 2,880 | 172.2 | - | - | - | - | 16,575 | 180.2 | 51,089 | -73.1 | 4,056 | 91.3 |
| 【月次統計】 | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年 1月 | 1 | - | 284 | - | 0.61 | -0.02 | 0.41 | -0.20 | 2,799 | 37.3 | 79,678 | -15.7 | 639 | 9.0 |
| 2月 | 1 | -50.0 | 2,200 | 1,718.2 | 0.67 | 0.04 | 0.41 | -0.12 | 2,630 | 14.6 | 90,336 | 85.6 | 553 | 4.9 |
| 3月 | 1 | -50.0 | 220 | -93.2 | 0.73 | 0.07 | 0.43 | -0.04 | 2,554 | -6.9 | 62,804 | -19.3 | 705 | 9.7 |
| 4月 | 0 | -100.0 | 0 | -100.0 | 0.63 | 0.05 | 0.41 | 0.00 | 2,390 | -25.8 | 49,969 | 6.2 | 640 | -0.2 |
| 5月 | 1 | 0.0 | 72 | -85.6 | 0.74 | 0.02 | 0.42 | 0.05 | 2,111 | -33.0 | 43,513 | -21.3 | 724 | -0.2 |
| 6月 | 0 | -100.0 | 0 | -100.0 | 0.83 | 0.09 | 0.44 | 0.06 | 2,369 | -37.8 | 40,760 | -9.1 | 635 | 0.9 |
| 7月 | 3 | - | 3,424 | - | 0.89 | 0.10 | 0.48 | 0.09 | 2,275 | -42.9 | 49,648 | 5.7 | 732 | 5.2 |
| 8月 | 1 | - | 140 | - | 0.81 | 0.08 | 0.49 | 0.11 | 2,188 | -41.9 | 57,955 | -15.4 | 893 | 4.1 |
| 9月 | 0 | -100.0 | 0 | -100.0 | 0.91 | 0.16 | 0.53 | 0.14 | 2,081 | -43.2 | 80,984 | 17.7 | 703 | -2.3 |
| 10月 | 3 | 200.0 | 634 | 250.3 | 0.90 | 0.18 | 0.55 | 0.16 | 2,006 | -42.9 | 69,912 | -13.2 | 723 | 7.5 |
| 11月 | 2 | - | 360 | - | 0.95 | 0.09 | 0.58 | 0.17 | 1,975 | -37.6 | 50,675 | -17.4 | 700 | 4.6 |
| 12月 | 1 | 0.0 | 64 | 220.0 | 1.22 | 0.26 | 0.62 | 0.20 | 1,934 | -35.9 | 69,089 | 9.0 | 696 | 5.7 |
| 平成23年 1月 | 5 | 400.0 | 3,266 | 1,050.0 | 0.87 | 0.26 | 0.63 | 0.22 | 1,901 | -32.1 | 51,598 | -35.2 | 641 | 0.4 |
| 2月 | 1 | 0.0 | 50 | -97.7 | 1.01 | 0.34 | 0.67 | 0.26 | 1,793 | -31.8 | 113,610 | 25.8 | 594 | 7.3 |
| 3月 | 5 | 400.0 | 399 | 81.4 | 0.92 | 0.19 | 0.63 | 0.20 | 1,682 | -34.1 | 12,062 | -80.8 | 377 | -46.5 |
| 4月 | 1 | - | 38 | - | 0.61 | -0.02 | 0.55 | 0.14 | 3,736 | 56.3 | 6,323 | -87.3 | 713 | 11.5 |
| 5月 | 5 | 400.0 | 719 | 898.6 | 0.89 | 0.15 | 0.55 | 0.13 | 5,375 | 154.6 | 8,241 | -81.1 | 744 | 2.8 |
| 6月 | 1 | - | 50 | - | 1.06 | 0.23 | 0.58 | 0.14 | 6,104 | 157.7 | 11,667 | -71.4 | 865 | 36.2 |
| 7月 | 0 | -100.0 | 0 | -100.0 | 1.34 | 0.45 | 0.64 | 0.16 | 5,981 | 162.9 | 8,189 | -83.5 | 1,254 | 71.2 |
| 8月 | 1 | 0.0 | 70 | -50.0 | 1.33 | 0.52 | 0.70 | 0.21 | 6,175 | 182.2 | 7,882 | -86.4 | 1,343 | 50.5 |
| 9月 | 0 | - | 0 | - | 1.40 | 0.49 | 0.79 | 0.26 | 5,859 | 181.5 | 7,321 | -91.0 | 1,250 | 77.8 |
| 10月 | 3 | 0.0 | 2,830 | 346.4 | 1.25 | 0.35 | 0.76 | 0.21 | 5,617 | 180.0 | 11,719 | -83.2 | 1,318 | 82.2 |
| 11月 | 0 | -100.0 | 0 | -100.0 | 1.80 | 0.85 | 0.80 | 0.22 | 5,394 | 173.1 | 18,572 | -63.4 | 1,308 | 86.8 |
| 12月 | 1 | 0.0 | 50 | -21.9 | 1.63 | 0.41 | 0.82 | 0.20 | 5,564 | 187.7 | 20,798 | -69.9 | 1,430 | 105.4 |
| 出 典 | 東京商工リサーチ (負債総額1,000万円以上) | | | | ハローワーク平 (年間倍率は年度ベースの値) | | | | | | 市 市 民 税 課 | | 株式会社 ネクスコ・トール 東北いわき事業 部 | |

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む
四半期統計において、Iは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す

| 区 分 年 月 | 中 小 企 業 D I 調 査 | | | | | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-----------|--------------|
| | 製 造 業 | 建 設 業 | 卸 売 業 | 小 売 業 | サ ー ビ ス 業 | 総 合 (全業種) |
| 【年次統計】 | | | | | | |
| 平成19年 | - | - | - | - | - | - |
| 20年 | - | - | - | - | - | - |
| 21年 | - | - | - | - | - | - |
| 22年 | - | - | - | - | - | - |
| 23年 | - | - | - | - | - | - |
| 【四半期統計】 | | | | | | |
| 平成22年 I | - | - | - | - | - | - |
| II | - | - | - | - | - | - |
| III | - | - | - | - | - | - |
| IV | - | - | - | - | - | - |
| 平成23年 I | - | - | - | - | - | - |
| II | - | - | - | - | - | - |
| III | - | - | - | - | - | - |
| IV | - | - | - | - | - | - |
| 【月次統計】 | | | | | | |
| 平成22年 1月 | - | - | - | - | - | - |
| 2月 | - | - | - | - | - | - |
| 3月 | -14.3 | -62.5 | -33.4 | -12.5 | -55.6 | -29.4 |
| 4月 | - | - | - | - | - | - |
| 5月 | - | - | - | - | - | - |
| 6月 | 3.2 | -77.8 | -35.8 | -55.6 | -42.9 | -27.1 |
| 7月 | - | - | - | - | - | - |
| 8月 | - | - | - | - | - | - |
| 9月 | 17.1 | -63.6 | -38.5 | -62.5 | 0.0 | -14.3 |
| 10月 | - | - | - | - | - | - |
| 11月 | - | - | - | - | - | - |
| 12月 | 0.0 | -54.5 | 7.7 | -63.6 | -57.1 | -22.6 |
| 平成23年 1月 | - | - | - | - | - | - |
| 2月 | - | - | - | - | - | - |
| 3月 | - | - | - | - | - | - |
| 4月 | - | - | - | - | - | - |
| 5月 | - | - | - | - | - | - |
| 6月 | -46.9 | -36.3 | -46.7 | -10.0 | -37.5 | -39.4 |
| 7月 | - | - | - | - | - | - |
| 8月 | - | - | - | - | - | - |
| 9月 | -16.1 | 42.8 | -35.7 | -10.0 | -60.0 | -16.4 |
| 10月 | - | - | - | - | - | - |
| 11月 | - | - | - | - | - | - |
| 12月 | -16.1 | 54.5 | -41.2 | 0.0 | 28.6 | -5.4 |
| 出 典 | 福島県産業振興センター (前年同月比で「良化」－「悪化」社数構成比(各月末時点)) 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査(平成23年3月は実施せず) | | | | | |

II いわき市の景気の動き(景気動向指数)

(平成23年第IV四半期(10~12月)の状況)

1 CI(コンポジット・インデックス)

(1) 概要

12月のCIは、先行指数が157.6、一致指数が143.4、遅行指数が86.7となった。

(2) 指数別の動向(指数は平成17年の水準を100とする)

【先行指数】12月は157.6ポイントで、6ヵ月ぶりに下降に転じた。

寄与度がプラスの指標は、中小企業DI(全業種)(6ヵ月連続)、自動車新規登録台数(7ヵ月連続)等の3指標。マイナスの指標は、新設住宅着工戸数(3ヵ月ぶり)、建築確認申請受付件数(2ヵ月連続)等の5指標であった。

【一致指数】12月は143.4ポイントで、2ヵ月ぶりに上昇に転じた。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業生産指数(2ヵ月ぶり)、小名浜港輸入通関実績(2ヵ月ぶり)、高速道路出入交通量(4ヵ月連続)等の7指標であり、寄与度がマイナスの指標は大型小売店等販売額(2ヵ月ぶり)の1指標であった。

【遅行指数】12月は86.7ポイントで、3ヵ月連続で上昇した。

寄与度がプラスの指標は、鉱工業在庫指数(3ヵ月連続)、法人市民税調定額(2ヵ月連続)等の5指標、マイナスの指標は、雇用保険受給者実人員(4ヵ月ぶり)、入湯税調定人員(3ヵ月ぶり)の2指標であった。

※CIの変化の大きさは景気の勢い(テンポ)を示す。

(3) 指数の推移及び寄与度の内訳(CIの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか)(平成17年=100)

| 区 分 | | 平成23年 | | | | | | | | | | | |
|------------------|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 先行指数(C.I.) | | 120.1 | 129.1 | 106.7 | 103.4 | 112.2 | 109.4 | 129.2 | 141.9 | 154.5 | 156.5 | 161.9 | 157.6 |
| 前月差(ポイント)(寄与度合計) | | 3.2 | 9.0 | -22.4 | -3.3 | 8.7 | -2.8 | 19.9 | 12.7 | 12.6 | 1.9 | 5.5 | -4.3 |
| 先行系列寄与度内訳 | 1. 自動車新規登録台数 | 2.7 | 0.4 | -5.2 | 4.8 | -3.4 | 4.0 | 2.3 | 4.3 | 0.9 | 1.0 | 2.1 | 1.3 |
| | 2. 新設住宅着工戸数 | -1.6 | 0.5 | 0.9 | -4.7 | 4.9 | -3.9 | 3.7 | 4.8 | -5.3 | 5.4 | 2.1 | -3.2 |
| | 3. 建築確認申請受付件数 | -1.9 | 1.3 | -5.2 | -4.5 | 5.1 | 4.0 | 4.3 | 1.6 | 0.7 | 2.2 | -1.2 | -0.6 |
| | 4. 鉱工業在庫率指数(逆) | 3.9 | 2.8 | -5.7 | 4.4 | 0.3 | -4.2 | 3.1 | -5.1 | 4.9 | -0.3 | -6.0 | -1.6 |
| | 5. 企業倒産件数(逆) | -1.9 | 0.7 | -3.1 | 1.5 | -3.2 | -0.9 | 2.8 | 4.8 | 5.1 | -5.6 | 2.1 | -0.9 |
| | 6. 新規求人倍率 | 1.4 | 2.8 | -4.1 | -4.6 | 5.0 | 1.9 | 3.1 | 1.9 | 0.2 | -1.5 | 5.5 | -5.6 |
| | 7. 中小企業DI(全業種) | 0.2 | 0.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | -3.8 | 0.2 | 0.2 | 5.5 | 0.2 | 0.2 | 5.8 |
| | 8. 一致指数トレンド成分 | 0.5 | 0.3 | 0.0 | -0.2 | 0.0 | 0.1 | 0.4 | 0.3 | 0.6 | 0.5 | 0.5 | 0.5 |
| 一致指数(C.I.) | | 112.1 | 117.1 | 103.2 | 104.3 | 110.3 | 122.3 | 134.4 | 129.8 | 138.2 | 138.6 | 136.2 | 143.4 |
| 前月差(ポイント)(寄与度合計) | | 3.8 | 5.0 | -13.9 | 1.1 | 6.0 | 12.0 | 12.1 | -4.6 | 8.4 | 0.3 | -2.4 | 7.3 |
| 一致系列寄与度内訳 | 1. 大型小売店等販売額 | -0.3 | 0.2 | -1.8 | 1.7 | 1.8 | 0.8 | -0.4 | -0.4 | 0.1 | -2.3 | 0.0 | -0.01 |
| | 2. 大口電力使用量 | 0.7 | 0.5 | -1.9 | -1.7 | 1.8 | 1.9 | 2.1 | 0.8 | 0.1 | 0.9 | 0.8 | 0.0 |
| | 3. 鉱工業生産指数 | -0.3 | 1.9 | -1.8 | 1.7 | 1.8 | 1.9 | 1.2 | -2.2 | -1.2 | 0.8 | -1.4 | 2.0 |
| | 4. 鉱工業出荷指数 | 0.9 | 1.2 | -1.8 | 1.7 | 1.8 | 1.1 | 1.9 | -2.3 | 0.8 | 0.4 | -1.8 | 1.5 |
| | 5. 小名浜港海上出入貨物 | 1.8 | -1.0 | -1.9 | -1.8 | 0.7 | 2.0 | 1.7 | 0.8 | 2.3 | -0.2 | 0.0 | 0.8 |
| | 6. 小名浜港輸入通関実績 | 0.9 | -1.2 | -1.8 | -1.8 | -0.8 | 1.9 | 2.3 | -0.8 | 2.1 | 0.6 | -1.2 | 0.5 |
| | 7. 高速道路出入交通量 | -0.8 | 1.3 | -1.9 | 1.7 | -1.7 | 1.9 | 2.1 | -2.3 | 2.2 | 1.4 | 0.6 | 2.2 |
| | 8. 有効求人倍率 | 0.9 | 2.0 | -0.9 | -0.5 | 0.8 | 0.5 | 1.3 | 1.7 | 2.1 | -1.2 | 0.5 | 0.2 |
| 遅行指数(C.I.) | | 87.3 | 90.9 | 80.4 | 69.6 | 76.9 | 88.5 | 88.4 | 81.3 | 78.1 | 84.3 | 86.6 | 86.7 |
| 前月差(ポイント)(寄与度合計) | | -5.2 | 3.6 | -10.5 | -10.7 | 7.3 | 11.6 | -0.2 | -7.1 | -3.2 | 6.2 | 2.4 | 0.1 |
| 遅行系列寄与度内訳 | 1. 鉱工業在庫指数 | -3.8 | -1.9 | -3.5 | -3.1 | 3.3 | 3.6 | 0.0 | 3.7 | -3.3 | 0.9 | 3.7 | 3.6 |
| | 2. 法人市民税調定額 | -1.4 | 1.4 | 0.4 | -3.2 | 0.8 | 2.7 | 3.7 | -3.6 | 3.4 | -3.5 | 0.3 | 0.3 |
| | 3. 信用保証承諾額 | 2.0 | -0.4 | -3.1 | 3.2 | 0.7 | 3.4 | -3.8 | -3.6 | -3.3 | 1.1 | -3.4 | 0.0 |
| | 4. 雇用保険受給者実人員(逆) | 0.0 | 1.0 | 2.6 | -3.4 | -3.3 | 0.2 | 0.6 | -0.6 | 0.4 | 0.7 | 1.3 | -3.2 |
| | 5. 手形交換高 | 1.7 | -0.5 | -3.1 | -1.0 | 3.1 | -1.9 | 2.9 | 0.5 | 0.0 | 3.3 | -3.4 | 0.3 |
| | 6. 入湯税調定人員 | -3.9 | 3.7 | -3.7 | -3.2 | 2.7 | 3.5 | -3.8 | -3.6 | -0.7 | 3.4 | 3.6 | -1.2 |
| | 7. 一致指数トレンド成分 | 0.4 | 0.2 | 0.0 | -0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.2 | 0.3 | 0.3 | 0.3 | 0.3 |

注1) CIはトレンド(長期的趨勢)と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

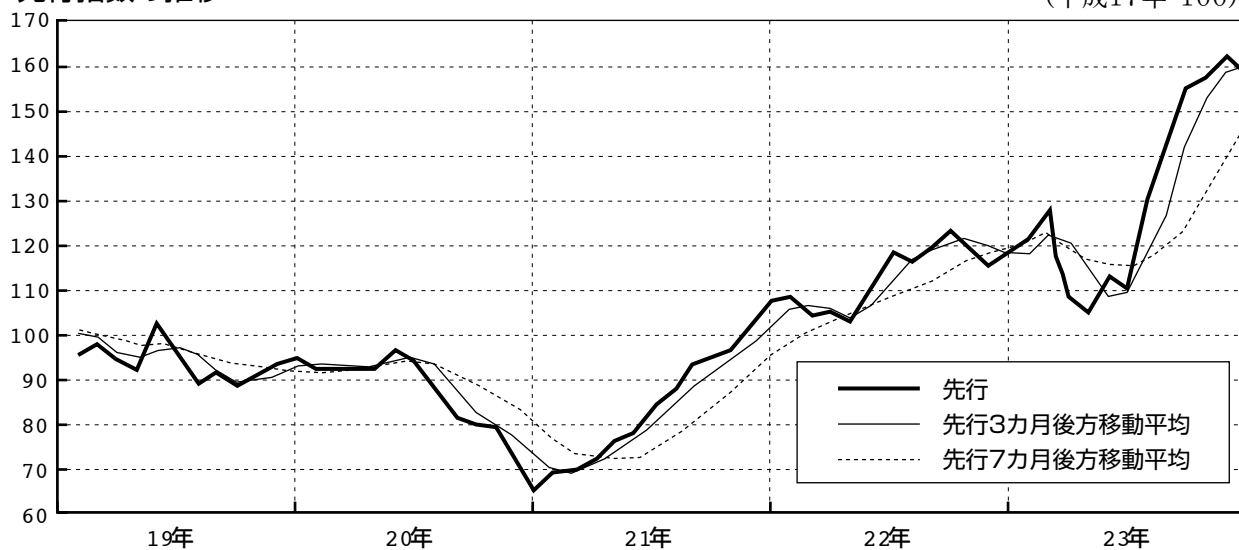
注2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

注3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

(4) CIの推移

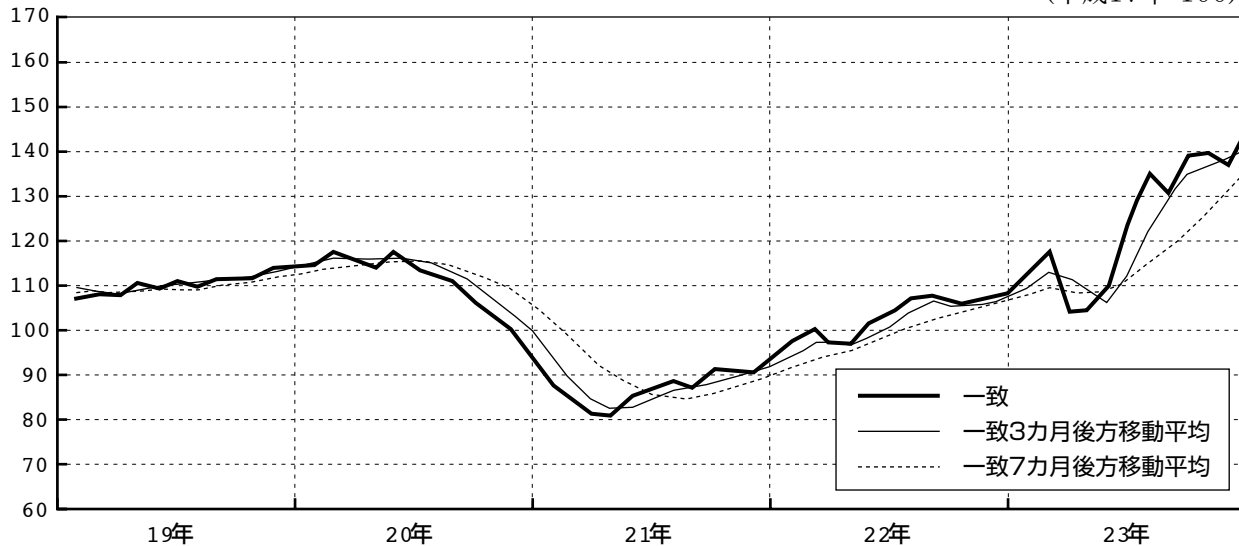
・先行指数の推移

(平成17年=100)



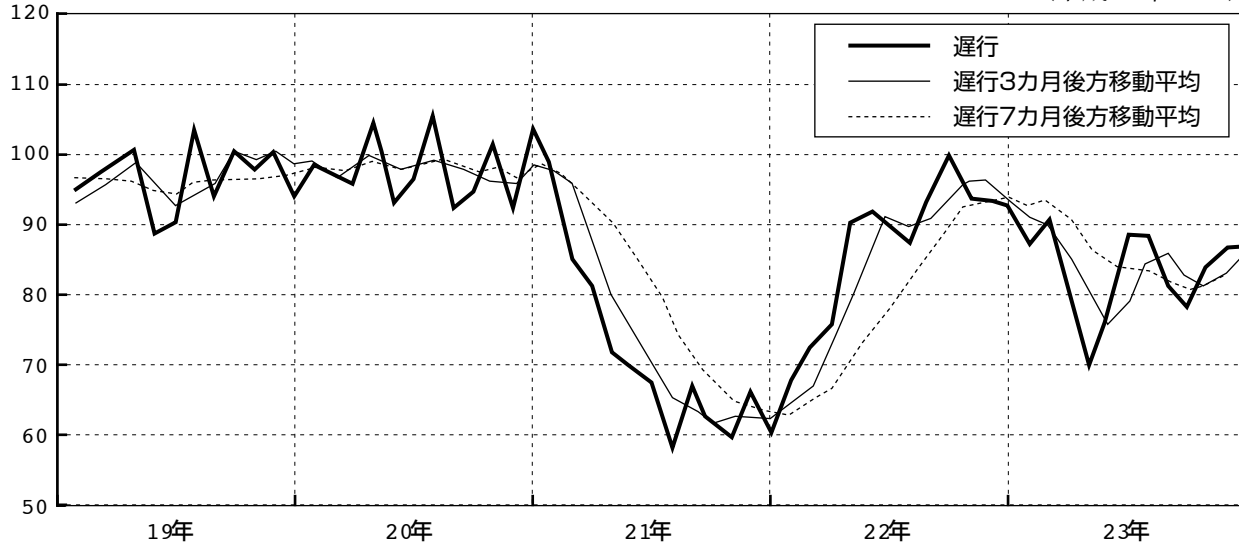
・一致指数の動向

(平成17年=100)



・遅行指数の動向

(平成17年=100)



(5) CIデータ
・先行指数

(平成17年=100)

| 年 | 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 14 | | 86.2 | 84.2 | 85.4 | 90.5 | 85.0 | 83.5 | 87.7 | 87.5 | 86.7 | 89.4 | 83.9 | 81.5 |
| 15 | | 87.5 | 94.4 | 94.9 | 84.2 | 89.3 | 95.3 | 89.0 | 89.4 | 92.8 | 98.6 | 94.9 | 94.6 |
| 16 | | 90.5 | 86.8 | 93.1 | 97.5 | 102.1 | 105.5 | 106.5 | 105.2 | 105.8 | 112.0 | 101.2 | 103.9 |
| 17 | | 92.5 | 94.1 | 98.6 | 104.8 | 108.5 | 108.4 | 102.3 | 101.8 | 98.9 | 94.4 | 99.1 | 96.6 |
| 18 | | 109.7 | 106.4 | 102.0 | 101.4 | 96.5 | 94.9 | 99.2 | 100.9 | 104.2 | 97.6 | 98.9 | 105.0 |
| 19 | | 95.2 | 97.6 | 94.1 | 91.8 | 102.7 | 95.6 | 89.2 | 91.2 | 87.9 | 89.6 | 93.0 | 94.4 |
| 20 | | 92.0 | 92.2 | 92.1 | 91.8 | 96.3 | 93.3 | 86.9 | 81.1 | 79.3 | 78.7 | 72.2 | 64.8 |
| 21 | | 69.3 | 69.7 | 71.6 | 76.1 | 78.2 | 82.2 | 87.1 | 93.0 | 94.9 | 95.5 | 100.3 | 106.1 |
| 22 | | 107.4 | 103.1 | 103.5 | 101.7 | 110.3 | 117.3 | 116.1 | 118.3 | 123.9 | 119.2 | 114.1 | 116.9 |
| 23 | | 120.1 | 129.1 | 106.7 | 103.4 | 112.2 | 109.4 | 129.2 | 141.9 | 154.5 | 156.5 | 161.9 | 157.6 |

・一致指数

(平成17年=100)

| 年 | 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 14 | | 83.3 | 84.3 | 81.8 | 85.6 | 85.3 | 81.5 | 84.2 | 85.1 | 87.4 | 90.3 | 88.1 | 87.5 |
| 15 | | 90.5 | 93.5 | 90.8 | 89.4 | 89.5 | 89.5 | 87.0 | 87.2 | 88.2 | 88.6 | 90.1 | 92.9 |
| 16 | | 93.6 | 92.3 | 92.5 | 94.9 | 95.7 | 93.8 | 96.9 | 94.8 | 96.6 | 101.9 | 97.2 | 97.6 |
| 17 | | 97.0 | 96.2 | 96.3 | 101.7 | 96.9 | 104.8 | 100.5 | 101.1 | 100.3 | 102.9 | 102.1 | 100.2 |
| 18 | | 102.1 | 103.4 | 107.3 | 108.5 | 103.2 | 104.1 | 105.0 | 110.5 | 107.6 | 108.1 | 108.9 | 110.3 |
| 19 | | 106.5 | 107.6 | 107.4 | 109.9 | 109.1 | 110.6 | 109.7 | 111.3 | 111.1 | 111.7 | 113.9 | 114.4 |
| 20 | | 114.5 | 117.1 | 115.3 | 113.1 | 117.2 | 113.8 | 112.6 | 110.6 | 106.2 | 103.0 | 99.3 | 93.3 |
| 21 | | 87.1 | 83.5 | 81.3 | 80.6 | 85.2 | 86.5 | 88.2 | 86.4 | 91.0 | 90.5 | 90.8 | 93.8 |
| 22 | | 97.3 | 99.2 | 96.7 | 96.4 | 101.9 | 103.4 | 106.6 | 107.1 | 105.1 | 105.1 | 106.5 | 108.3 |
| 23 | | 112.1 | 117.1 | 103.2 | 104.3 | 110.3 | 122.3 | 134.4 | 129.8 | 138.2 | 138.6 | 136.2 | 143.4 |

・遅行指数

(平成17年=100)

| 年 | 月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|----|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 14 | | 59.2 | 59.8 | 60.1 | 64.0 | 64.8 | 61.8 | 64.5 | 69.7 | 72.7 | 69.4 | 72.7 | 69.2 |
| 15 | | 71.0 | 71.8 | 78.0 | 80.1 | 78.2 | 84.6 | 81.8 | 79.1 | 76.9 | 83.2 | 84.8 | 95.7 |
| 16 | | 96.2 | 108.3 | 107.4 | 94.8 | 100.6 | 102.1 | 99.2 | 107.3 | 98.6 | 101.0 | 108.1 | 96.2 |
| 17 | | 111.3 | 101.9 | 98.7 | 90.6 | 99.2 | 101.2 | 94.7 | 98.5 | 100.1 | 97.9 | 107.0 | 99.0 |
| 18 | | 92.7 | 94.0 | 95.5 | 96.3 | 100.3 | 104.0 | 99.6 | 97.0 | 103.7 | 99.0 | 93.8 | 91.9 |
| 19 | | 95.4 | 97.4 | 98.9 | 101.2 | 89.5 | 90.4 | 104.6 | 94.1 | 100.6 | 98.3 | 101.4 | 93.9 |
| 20 | | 99.8 | 97.6 | 96.4 | 105.4 | 93.5 | 97.6 | 106.5 | 92.8 | 94.6 | 101.7 | 92.2 | 103.1 |
| 21 | | 98.1 | 85.0 | 81.5 | 71.7 | 70.0 | 67.5 | 58.2 | 66.4 | 61.5 | 60.0 | 66.7 | 60.2 |
| 22 | | 68.1 | 72.9 | 75.6 | 90.7 | 91.9 | 90.5 | 87.5 | 94.4 | 99.6 | 94.1 | 93.6 | 92.4 |
| 23 | | 87.3 | 90.9 | 80.4 | 69.6 | 76.9 | 88.5 | 88.4 | 81.3 | 78.1 | 84.3 | 86.6 | 86.7 |

2 DI (ディフュージョン・インデックス)

(1) 概要

- 【先行指数】 12月は、57.1%と7カ月連続で50%を上回った。
- 【一致指数】 12月は、62.5%と7カ月連続で50%を上回った。
- 【遅行指数】 12月は、50.0%と3カ月連続でもち合い（境目の水準）となった。

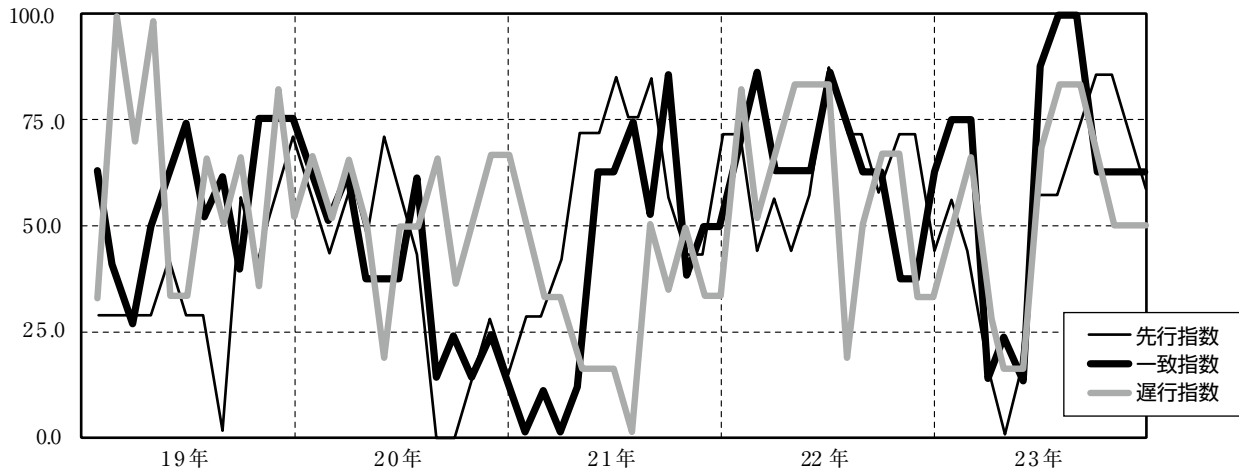
（注）各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる（－景気動向指数利用の手引き－参照）

(2) DIの推移

| 区 分 | 平成23年 | | | | | | | | | | | |
|------------|-------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|------|------|------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 先行指数 (D.I) | 57.1 | 42.9 | 16.7 | 0.0 | 16.7 | 57.1 | 57.1 | 71.4 | 85.7 | 85.7 | 71.4 | 57.1 |
| 一致指数 (D.I) | 75.0 | 75.0 | 12.5 | 25.0 | 12.5 | 87.5 | 100.0 | 100.0 | 62.5 | 62.5 | 62.5 | 62.5 |
| 遅行指数 (D.I) | 50.0 | 66.7 | 33.3 | 16.7 | 16.7 | 66.7 | 83.3 | 83.3 | 66.7 | 50.0 | 50.0 | 50.0 |

（注）DIは、先行(7指標、平成23年3月は6指標)、一致(8指標、平成23年2、3月は7指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3カ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

(3) DIの推移



(参考) 累積DIの推移（平成5年以降）



注1) 累積指数は、基準月（平成5年1月）の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角性のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、先行指数に300を、一致指数に100を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

【参考】景気動向指数利用の手引き

(1) 景気動向指数の概要

- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標です。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があります。両者の動きを総合して景気の詳細把握や将来予測等を行います。
- C I、D Iとも、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成します。一致指数は景気の詳細把握に利用します。先行指数は景気の動きを予測するために利用します。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用します。

(2) CI（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

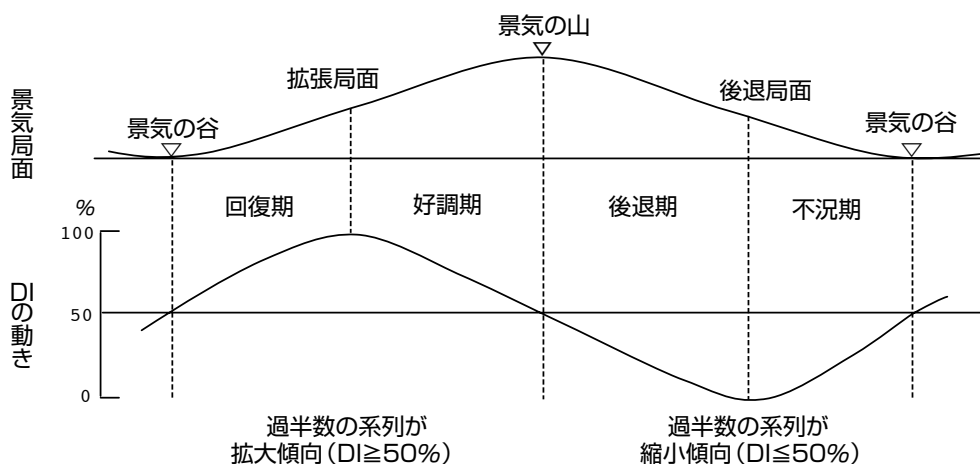
- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものです。たとえば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等8つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成しています(詳しい計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlをご参照ください)。

- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示します。また、景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示します。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断します。

(3) DI（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものです。採用指標の各月の値を3ヶ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなります。たとえば、いわき市の一致指数では8つの指標を採用していますので、そのうち6つが改善したならば $6 \div 8 = 0.75$ (DI=75%)と計算します。

- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされています。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼びます。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されますが、国では以下のように定めています。

景気循環日付（全国）

| 区分 | 谷 | 山 | 谷 | 区分 | 谷 | 山 | 谷 |
|------|---------|---------|---------|-------|---------|---------|---------|
| 第1循環 | | S26. 6. | S26.10. | 第8循環 | S50. 3. | S52. 1. | S52.10. |
| 第2循環 | S26.10. | 29. 1. | 29.11. | 第9循環 | 52.10. | 55. 2. | 58. 2. |
| 第3循環 | 29.11. | 32. 6. | 33. 6. | 第10循環 | 58. 2. | 60. 6. | 61.11. |
| 第4循環 | 33. 6. | 36.12. | 37.10. | 第11循環 | 61.11. | H 3. 2. | H 5.10. |
| 第5循環 | 37.10. | 39.10. | 40.10. | 第12循環 | H 5.10. | 9. 5. | 11. 1. |
| 第6循環 | 40.10. | 45. 7. | 46.12. | 第13循環 | 11. 1. | 12.11. | 14. 1. |
| 第7循環 | 46.12. | 48.11. | 50. 3. | 第14循環 | 14. 1. | 20. 2. | 21. 3. |

(5) 景気動向指数採用系列の概要

| 項目 | | 内容 | 原データの出典 | |
|------|---------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 先行系列 | 1 自動車新規登録台数 | 季 | 代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。 | いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所 |
| | 2 新設住宅着工戸数 | 季 | 住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。 | 福島県土木部 |
| | 3 建築確認申請受付件数 | 季 | 住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。 | いわき市建築指導課 |
| | 4 鉱工業在庫率指数 | 季逆 | 鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。 | 福島県企画調整部 |
| | 5 企業倒産件数 | 前逆 | 負債総額1,000万円以上の倒産件数。景気後退期には倒産件数が増加し、景気拡大期には減少するという逆サイクルで推移する。 | 東京商工リサーチ |
| | 6 新規求人倍率 | 季 | 月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。 | ハローワーク平 |
| | 7 中小企業DI(全業種) | ※ | 企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合-減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。 | 福島県産業振興センター |
| 一致系列 | 1 大型小売店等販売額 | 前 | いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。 | いわき未来づくりセンター |
| | 2 大口電力使用量 | 季 | 契約が500kW以上の電力の使用量。主として製造業の生産活動の状況が反映される。 | 東北電力いわき営業所 |
| | 3 鉱工業生産指数 | 季 | 鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。 | 福島県企画調整部 |
| | 4 鉱工業出荷指数 | 季 | 鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。 | 福島県企画調整部 |
| | 5 小名浜港海上出入貨物 | 季 | 船によって輸入・移入され小名浜港で船卸しされる貨物、または小名浜港で船積みされ船によって輸出・移出される貨物の重量。 | 福島県小名浜港湾建設事務所 |
| | 6 小名浜港輸入通関実績 | 季 | 小名浜港を通関して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。 | 横浜税関 |
| | 7 高速道路出入通行量 | 季 | いわき市内インターにおける車両の出入通行量。 | 株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部 |
| | 8 有効求人倍率 | 季 | 月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。 | ハローワーク平 |
| 遅行系列 | 1 鉱工業在庫指数 | 季 | 鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。 | 福島県企画調整部 |
| | 2 法人市民税調定額 | 季 | 企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。 | いわき市市民税課 |
| | 3 信用保証承諾額 | 前 | 中小企業等が金融機関から融資を受けようとする際に、信用保証協会が債務保証を行う制度。 | 福島県信用保証協会 |
| | 4 雇用保険受給者実人員 | 季逆 | 失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。 | ハローワーク平 |
| | 5 手形交換高 | 季 | 手形の交換高には、企業の取引活動の活発さが反映される。 | いわき手形交換所 |
| | 6 入湯税調定人員 | 季 | いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。 | いわき市市民税課 |

注) 季：X12Aによる季節調整値、前：原数値前年同月比(倒産件数は3ヶ月移動平均値の前年同期比)、※：四半期原数値逆：景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 国の動向 | <p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産は、緩やかに持ち直している。輸出は、このところ弱含んでいる。 ・企業収益は、減少している。設備投資は、下げ止まりつつあるものの、このところ弱い動きもみられる。 ・企業の業況判断は、大企業製造業で低下しており、全体としても小幅改善となっている。先行きについても、全体として慎重な見方となっている。 ・雇用情勢は、持ち直しの動きもみられるものの、東日本大震災の影響もあり依然として厳しい。 ・個人消費は、このところ底堅い動きとなっている。 ・物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。 <p>先行きについては、各種の政策効果などを背景に、景気の緩やかな持ち直し傾向が続くことが期待される。ただし、欧州の政府債務危機が、金融システムに対する懸念につながっていることや金融資本市場に影響を及ぼしていること等により、海外景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクが存在する。また、電力供給の制約や原子力災害の影響、さらには、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。(内閣府「月例経済報告」平成24年2月公表分)</p> |
| (2) 県の動向 | <p>県内の景気は、厳しい状況にあるものの、生産活動や個人消費などに持ち直しの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費…持ち直しの動きがみられる。 ・建設需要…公共工事は前年を上回っている。民間需要は業務用建築物では前年を上回り、新設住宅では前年を下回っている。 ・生産活動…低水準ながら、持ち直しの動きがみられる。 ・雇用・労働…一部に改善の動きがみられるものの、引き続き悪化が懸念される状況にある。 ・物価…企業物価指数、消費者物価指数ともに前年を上回っている。 ・企業・金融…企業倒産は震災により増加が懸念される状況にある。金融預金残高、貸出残高ともに、前年を上回っている。 <p>(福島県「最近の県経済動向」平成24年2月公表分)</p> |

2 景気動向指数(CI)

| | |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 国の動向 | <p>12月のC I(速報値・平成17年=100)は先行指数：94.3、一致指数：93.2、遅行指数82.7となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して0.6ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。3ヵ月後方移動平均は0.50ポイント上昇し、4ヵ月ぶりの上昇、7ヵ月後方移動平均は0.33ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>一致指数は、前月と比較して2.9ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇となった。3ヵ月後方移動平均は1.03ポイント上昇し、2ヵ月ぶりの上昇、7ヵ月後方移動平均は0.68ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月と比較して0.3ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は1.00ポイント下降し、3ヵ月連続の下降、7ヵ月後方移動平均は0.20ポイント下降し、3ヵ月連続の下降となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」平成24年2月公表分)</p> |
| (2) 県の動向 | <p>1 概 括</p> <p>12月の景気動向指数(CI：コンポジット・インデックス、H17年=100)は、先行指数128.8ポイント、一致指数133.2ポイント、遅行指数111.0ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(130.1ポイント)を1.3ポイント下回り、2ヵ月連続の下降となった。</p> <p>一致指数は、前月(127.6ポイント)を5.6ポイント上回り、2ヵ月ぶりの上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(109.1ポイント)を1.9ポイント上回り、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>2 一致系列の動向</p> <p>寄与度をみると、有効求人倍率は9ヵ月連続、雇用保険受給者実人員は6ヵ月連続、大口電力使用量は2ヵ月連続のプラスとなり、生産指数(鉱工業)、出荷指数(鉱工業)、大型小売店販売額(既存店)は2ヵ月ぶりプラスとなった。一方、建築着工床面積(鉱工業)、手形交換金額(1枚当たり)は、2ヵ月連続のマイナスとなり、所定外労働時間指数(全産業)は2ヵ月ぶりマイナスとなった。内訳をみると、生産指数(鉱工業)が2.57ポイント、雇用保険受給者実人員が2.54ポイント、大口電力使用量が1.83ポイント、有効求人倍率が1.62ポイント、出荷指数(鉱工業)が0.94ポイント、大型小売店販売額(既存店)が0.51ポイントとなっており、これらの指標が上昇に寄与した。</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」平成24年2月公表分)</p> |

ひとくちコンパス

休日になると、小さな子どもがいる我が家は「さて、今日はどこに出掛けて 楽しもうかな？」

最近では、スパリゾートハワイアンズがグランドオープンし、家族で楽しめる場所が、またひとつ戻ってきてくれてうれしい限りです。

小名浜港のいわき・ら・ら・ミュウも 震災前と変わらない姿・活気を感じることが出来ます。

威勢のいい掛け声に、つつい財布の紐も緩んでしまいます。

新しくオープンした、東北最大級の室内遊び場『わんぱくひろば みゅう・みゅう』。

遊具がとても充実していて、大人もつい 楽しくなってしまう。

制限時間の1時間はあっという間です。

子ども共々、大好きな場所は、アクアマリンふくしまです。

毎年、年間パスポートを購入するので早速、今年もパスポートを購入。

ひと月に何度も、アクアマリンに足を運んでしまう我が家にとっては、約3回分の入場料で、一年間、入場できるという超・お得なパスポートなのです。

変わらない館内を、また楽しめる裏には、どれほどの苦労があったのでしょうか。

ひとつひとつの水槽を、そんな想いで眺めます。

震災から一年ですが、少しずつ復興する姿を目の当たりにし、その度に、明日への希望・活力が湧いてきます。 (いわき未来づくりセンター 尾形)

TRAILの廃刊について

御利用・読者の皆様へ

悪夢の「東日本大震災」、そして、忌まわしい「福島第1原子力発電所の事故」発生から、1年が過ぎようとしております。…いまだに、被災地の情景、避難者の近況等がたびたび映しだされています。生々しい新たな事実が掘り出されております。

いわき未来づくりセンターは、この平成24年3月を持って、事業を終息することになります。したがって、経済情報誌「いわきの経済・景気 TRAIL」は、本号の第36号を持って廃刊となります。

いわき経済の復興を見ぬまま、終息することは真に残念ではありますが、「降り止まぬ雨はない」のとおり、早く希望の光が見える出口を見つけたすことを願いつつ、見守ってゆきたい。

「TRAIL」はいわき市の経済・景気の動きについて独自の指標を用いて分析・解説するセンターの自主研究事業として取り組んでまいりました。不

況からの脱出がままならぬ平成15年6月の第1号発刊以来、9年間、不良債権、金融、リーマン・ショック、円高問題など、また震災からの復旧・復興へと大きく変化する中、このTRAILが、地元経済の現状をお示しすることで、てまえみそながらも少しでも経済活動の参考になり皆様のお役に立てることができたものと、自負いたしております。

…震災からの復興、事故からの復興はいつの日になるのか、まったく先が見えませんが、ともに頑張りましょう。

また、本誌掲載にあたり、労をお取いただきました、関係各位に厚く感謝申し上げますとともに、読者の皆様には長い間、お付き合いただきまして、御礼申し上げます。真にありがとうございました。(いわき未来づくりセンター 所長 渡邊 雄八)

なお、これまでの「TRAIL」掲載記事は、いわき未来づくりセンターの業務終息後も、期間限定(平成26年3月まで)ではありますが、HPにてご覧いただけます。

センターのHPは、こちら。 URL: <http://www.iwakimc.com/>

編集・発行：いわき未来づくりセンター

〒970-8686 いわき市平字梅本21 (いわき市役所9階)

TEL 0246-22-7408 FAX 0246-22-7593

E-mail iwakimiraizukuri-c@city.iwaki.fukushima.jp

URL <http://www.iwakimc.com/>



この冊子は、環境にやさしい大豆インキを使用しています。

